



▲海の中道海洋生態科学館の職員に見送られるウミガメ

勝浦浜でウミガメ 5 頭が放流

励まされながら元気に海へ

今年、福津市と福岡市に漂着し、保護されたウミガメ 5 頭が6月2日に勝浦浜で放流されました。

放流されたウミガメはアオウミガメ、タイマイの2種類。いずれも漂着後市民や保護団体によって保護された後、海の中道海洋生態科学館に移送され、飼育されていました。

中にはけがをしていたり、衰弱し生死が危ぶまれたりするウミガメもいましたが、元気に回復。漂着していたのを発見した人や集まった人たちに「がんばれ」と励まされながら、砂浜を歩き、海に帰っていきました。



まつお
かいと
津
松尾 海音ちゃん



発行月に1歳の誕生日を迎える赤ちゃんの写真を募集しています。掲載を希望する人はプリントした写真を子育て支援センターなかよしに持参するか、市公式ホームページでも受け付けています。持参の場合、写真はプリントしたものに限りです。データの持ち込みは受け付けられません。毎号先着24人で、10月生まれの赤ちゃんは8月19日(金)が受付期限です。

受付、問い合わせ

市子育て支援センターなかよし(ふくとぴあ) ☎35・8382

休館日 月曜日、第2土曜日とそれに続く日曜日、祝日



▶写真掲載申込フォーム

令和4年度 宗像地区水防訓練

水害を最小限に防ぐために

宗像地区消防本部合同水防訓練を6月5日に日蔭野の集いの駅で行いました。

市消防団員と福津消防署員が、孤立者救出訓練や土のう工法訓練、救急救命訓練など、実際に市内で大雨に関する警報が発出されたことを想定し、指揮系統の確認も含めた本格的な訓練を行いました。また、ドローンによる空からの現場確認なども披露されました。

雨が降る中で訓練は行われ、今年も雨が多くの降る季節を迎えるにあたり、緊張感のある訓練となりました。



▲水防に欠かせない土のうを準備する消防団の皆さん

第8回 福津市消防団消防操法大会

日頃の訓練の成果を発揮

第8回福津市消防団消防操法大会を5月22日に福岡漁港多目的広場で行いました。コロナ禍の影響で3年ぶりの今大会。日差しが激しく照りつける中、市内の11の消防団が、ポンプ車操法部門と小型ポンプ操法部門に分かれ、日頃の練習の成果を競い合いました。結果は、ポンプ車部門の優勝第1分団、2位第3分団、小型ポンプ部門の優勝第6分団、2位第7分団、3位第11分団でした。

今年は、小型ポンプ部門の3位までの分団が、7月24日に行われる宗像地区大会に市代表として出場します。



▲優勝した第6分団指揮者の竹内一晃さん

宗像地区消防本部初期消火等協力者表彰

初期消火と人命救助の功績に感謝状

3月27日に発生した建物火災において、非番の日に駆け付けた消防士の倉本恵介さんと協力して初期消火と人命救助を行った、徳留大嗣さんと佐藤潤一さんに対して、5月11日に感謝状が贈呈されました。「今後もしっかりと訓練などに取り組んでいきたい」と2人とも力強い言葉を話していました。



▲表彰された徳留さん(左)と佐藤さん

長年にわたる活動が表彰されました

これからも子どもたちのために

市子ども会育成会連合会の顧問を務める城戸克哉さんが、長年にわたる活動の功績から全国子ども会連合会・九州地区子ども会育成連絡協議会の表彰を受けました。城戸さんは「周りの人たちから助けてもらい、続けることができた。これからも子どもたちを応援していきたい」と話していました。



▲原崎市長、大嶋教育長とともに表彰状を掲げる城戸さん